

令和元年度 第2回四日市市立図書館協議会会議要録

1. 日 時 令和元年12月26日(木) 午前10時30分～正午
2. 場 所 四日市市立図書館 2階 視聴覚ホール
3. 出席者 松井真理子会長、福永智子副会長、岡田博子委員、
海戸田恵一委員、竹下すま子委員、中井孝幸委員、
花井弥生委員、藤田一樹委員、渡部通廣委員
(会長、副会長以降、五十音順)
図書館：大森陽司館長、村林知可子副館長兼管理係長、
水谷園子奉仕係長、松岡優斗管理係職員
4. 欠席者 なし
5. 傍聴者 1人
6. 議事録概要
 1. はじめに
 2. 議題
 - (1) 令和元年度図書館事業報告等(平成31年4月～令和元年12月)について
 - (2) 令和元年度図書館事業予定等(令和2年1月以降)について
 - (3) 他市図書館への照会結果について
 - (4) 議会における一般質問、委員会質問等について
 - (5) 図書館情報システム更新に伴う休館について
 - (6) その他
 3. おわりに

1. はじめに

【館長挨拶】

図書館協議会条例第5条により、松井会長が議長となり、議事を進める。

【出席者確認・会議成立確認】定数9名、出席9名。

【傍聴者確認】1名。

【非公開範囲の決定】適宜、諮るものとされた。

2. 議題

(1) 令和元年度図書館事業報告等(平成31年4月～令和元年12月)について

(事務局資料1説明)

委員：お城の講座は多くの受講者がみえたようだが、どのような年齢層の方に来てもらったのか。

図書館：対象を中学生以上としたが、内容が結構難しく50代以上の男性の方が

多かった。

委員：点字・録音図書については、図書館がボランティア団体に委託して作成を行っている。次回の事業報告の中に、作成した実績を報告してもらおうと携わった者としては、やりがいを感じて作成に取り組んでいける。

図書館：検討していきたい。

委員：職業体験について、学校の方から申し込みがあって行っているのか。

図書館：教育委員会から各学校に職業体験についての周知を行い、要望のあった学校と日程調整を行っている。

委員：日程的に問題がなければ何回でも受け入れてもらえるのか。

図書館：特に制限は行っていない。

（２）令和元年度図書館事業予定等（令和２年１月以降）について

（事務局資料２説明）

質問事項について特になし

（３）他市の図書館への照会結果について

（事務局資料３説明）

図書館：今年度、いろいろな項目で他市図書館への照会を行った。その中で図書の貸出の住所要件について、調査資料を基に委員の皆様にご意見をいただきたい。

委員：今後の新図書館の開館の際に、この調査の資料をもとに貸出の住所要件については、図書館が決定をするのか。

図書館：開館する際にはどうしていくのか、当然それまでの議論が必要。最終的には、教育委員会で議論の上決定することになると思われる。

図書館としてどうしていくかという面については、説明できるような形に持っていく必要があるのではないかと考えている。

委員：意見として、三重県については、県立図書館が「どこにも２つの図書館」としていることから、県と市町の図書館のネットワークが他県に比べて一定以上のレベルがあると思っている。四日市市として住所要件を無くすと督促事務をどこがやるのかの問題が生じてくる。確かに、新館オープンの際は、一時的に登録者数は増加するとは思われるが、延滞処理の業務が増加するのではないか。県立図書館を通じての貸出であれば県立が督促業務を行ってくれるが、要件を無くすと四日市市が督促業務を行っていかなければならなくなるのではないか。大学図書館で延滞本がかなり多く督促の対応にかかるコストがかなり大変であった。返却ポストを設置したところ、返却量が増え督促の業務がかなり減った。

図書館：マンパワーが必要になってくるとは思われる。皆さんからのそういったメリット、デメリットを含めて意見を伺って進めていきたい。

- 委員**：研究室で以前、今回の照会対象の岡崎市、一宮市について調査を行った。一宮市が住所要件を全国OKとしたが、実際のところ登録者はそれほど増加しておらず、全国から借りている人は少ない。
- ただし、観光地、例えば小布施などは規模が小さい図書館ではあるが、貸出の2割は観光客で本を借りていく方も多い。現行でも、四日市市は他市町とも広域利用しているので変わらないのではないかと思う。ただ、四日市市については、コンビナートとか四日市ぜんそくなどの地域資料が充実されており、そういった資料を研究などで利用を希望する方もあると思うが、規則に館長が特に認めるものとされているので所在を確認できれば対応可能かとは思われる。ただし、最近はオープンにしていく傾向もあるのでよく議論していただきたい。
- 調査を行った印象としては、劇的に増えることもないと思われるので参考にしてもらえればと思う。
- 図書館**：鳥羽市は貸出要件を、観光地といったことで設けていないと聞いたことがある。亀山市も新図書館に向けて現在検討中であると聞いている。他市の状況を見つつ、委員の方の意見を伺いながら考えていきたい。
- 委員**：県内の対象市町以外の住民から県を通さず図書を借りたいとの申し出はあるのか。
- 図書館**：多いのは、鈴鹿市の方で、現在、鈴鹿市とは協定を結んでいない。声のポストにも、四日市市は図書が多いので借りたいが借りることが出来ないといった内容の意見があった。
- また、「三重の城を知る」の講座に津市から参加された方で、折角なので四日市市で資料を借りたいとの申し出があった。
- 委員**：そのような場合、県立を通しての貸出は出来るのか。
- 図書館**：相互貸借で貸出が可能であることを伝えただけで来たので借りたという申し出であった。
- 委員**：鈴鹿市は近隣都市であるが、なぜ借りられないか。
- 図書館**：鈴鹿市の運営方針上のこともあり、鈴鹿市とは協定を締結していない。
- 委員**：菰野町の図書館での貸し出しは可能か。以前の勤務地の桜中の生徒が住まいに近い菰野町の図書館をよく利用していた。
- 図書館**：菰野町とは、在住、在勤、在学の方については利用が可能となっている。
- (4) 議会における一般質問、委員会質問等について**
(事務局資料4説明)
- 委員**：学習支援に作成したカードはもって帰れるのか。フロー図とはどのようなものか。
- 図書館**：夏休みに自由研究に多くの小中学生が、地域資料室に来ていただく。地域資料室で来館者が多くなってくると、職員が対応中の場合や、自分から声をかけることが苦手な子供たちが、研究課題を自分で選択するのに利用しても

らったりしている。

委員：図書館にてオリジナルで作られたのか。

図書館：担当職員が実際の業務に携わっていく経験のなかで、自分なりに作成した。

委員：学校にも司書の方に来てもらって、カードではないが本を選ぶ際に、手助けをしてもらっていると聞いており、よくしてもらっていると思っている。

委員：活用の実態はどうであったか。

図書館：統計はとっている。カードの残数の枚数を毎日、確認し実績をとっていた。四日市公害が多く、方言、四日市祭りも多かった。

委員：もっとアピールしていてもいいのでは。ホームページには掲載しているのか。

図書館：ホームページには掲載している。

委員：図書館に来館しないと手に入らないか。

図書館：夏休み前に各学校への配布物の中に入れて送付している。

委員：楽しそうなフローチャートではあるが、福祉の仕事に携わっている者としては、福祉の分野がないのが気になった。人気のないのはわかるが図の中に福祉の分野を入れてもらい関心をもってもらえるように誘導していただきたい。

図書館：今後の参考にしていきたい。

委員：医療や薬とかも入れてほしい。環境資料館とか博物館に子供達が見学会に行き行って学んだことについて、それ以上学びたいという思いから本を借りたりしている。四日市はそのような行事も催している点は良いと思う。

図書館：博物館とは、特に博物館の催し物の際にそれに伴った展示の企画を行い、連携をしていく必要があるので今後も注意して進めていきたいと思っている。

(5) 図書館情報システム更新に伴う休館について

(事務局資料5説明)

委員：システムの更新に伴う変更点の中で、マイ本棚は自分の貸出カードで借りた本が記録されていくということか。

図書館：パスワードをお持ちの方は、そこにご自身が好きなテーマで本棚を作って、登録していくことが出来る。例えば、これから読んでいきたい本など、テーマとして項目は100種類作ることが出来る。

委員：本棚を作ったら、借りた本がそこに記録されるわけではないのか。

図書館：借りた本の記録は消えるのでご自身で登録してもらおう。

(6) その他

図書館：総合計画基本構想・基本計画特別委員会が12月17日から20日の4日間開催され、四日市市総合計画についての議論が行われた。総合計画において、図書館について掲載された資料を配布し、その内容について報告させてもらう。資料表面、重点的横断戦略プラン②-1 リージョンコアYOKKAIC

H I の中心市街地の都市機能高次化プロジェクトについて、表題の「四日市が仕掛ける中心市街地活性化の起爆剤」について、議員より「起爆剤」といった表現について削除する意見が出され、修正案が賛成多数で可決された。また、具体的取組の項目①の内容について、「図書館本来の機能」として、中心市街地活性化の基本計画に掲載されている「市民の生涯学習の場や子供達が読書を楽しむ環境づくり」を引用して記載すべきではないかとの提案があったが、賛成少数で否決された。

次に、重点的横断戦略プラン① 子育てするなら四日市+（プラス）については、市長が“子育てするなら四日市”を掲げ、いろいろと取組を進めており、図書館としても、子育て支援にかかる部分でできることとして、現在は実施していない学童保育所への読み聞かせの出前講座を提案し、総合計画の中に記述された。計画を進めるにあたり、人員が必要となることから来年度においては、司書を1名増員することが認められ、来年度4月採用に向けて、2月2日に採用試験を行うこととなった。

委員：図書館本来の機能の記載についての修正案が否決されたのはいかがなものか。以前から申し上げているように、新図書館建設の際も本来の図書館の大切な機能は無くさず、人が集まるだけの居場所を作るだけで中身のない図書館にならないように図書館協議会として、今後何か意見をまとめていく時はお話していただきたい。

図書館：当然、基本的な部分については大切とは思っており、今回このような形の記載となっているが、そもそも部分はやはり図書館として説明はしていきたい。

委員：今回の図書館協議会でこのような意見が委員から出たことは、必ず会議録に記録してほしい。これから、新図書館にむけての動きがいろいろとあると思う。市の政策として中心市街地の活性化も大事とは思いますが、図書館協議会の委員としていうべきことは、図書館の内容充実と、元の機能を失わないことで、図書館の方で意見としてあげてほしいと思う。

委員：図書館についての記述は配布資料に記載されている以外に、各部署について詳細に網羅された計画として作成したものがあって、そこに生涯学習施設としての図書館としての機能としての書き込みがあるのではないか。この資料の計画は各部署を重点的横断して立てられたものであって、ほかにそうでない計画はないのか。

図書館：総合計画に図書館として記載されている箇所はこの2カ所である。市として、図書館の基本的な考え方としては、中心市街地活性化拠点整備計画に記載されている。総合計画はすべてを網羅するものではないので、基本的な考えはこれに沿っていることをご理解いただきたい。

委員：今から建設していく時期に、図書館は教育施設の大切なものであるといったことを、教育委員会として具体的な政策だけでなく総合計画に計上してい

くべきではなかったか。

委員：総合計画の基本方針に具体的な内容が示されていないのは、新図書館の方向性が固まっていないからか。新図書館の建物についての記載がこれだけなのは残念である。

委員：この計画には居場所、憩いの場所と記載はあり、市としてはその部分は重視していこうというのはわかるが、文化施設としての図書館の機能の記載がない。

委員：何か新図書館に係る情報があれば、教えていただきたい。協議会として話し合う時期が来れば時期を逸せずに協議会を行っていただき、意見をあげていってほしい。

図書館：今後、何か情報があれば連絡させてもらう。

委員長：他に何か事務局から報告はあるか。

図書館：声のポストについて意見と回答をまとめたものを資料として配布した。時間のある時に目を通していただきたい。

3. おわりに

(事務局) 第3回協議会を3月頃を開催させていただきたく、事前に各委員の予定をお聞きしたい。